

今週のお祈り

聖霊降臨後第18主日(特定20)特祷

憐れみ深い全能の神よ、どうか主の豊かな恵みによって、すべての害あるものから守ってください。体と魂とに備えをし、あなたのみ心の思いを喜んで成し遂げることが出来ますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



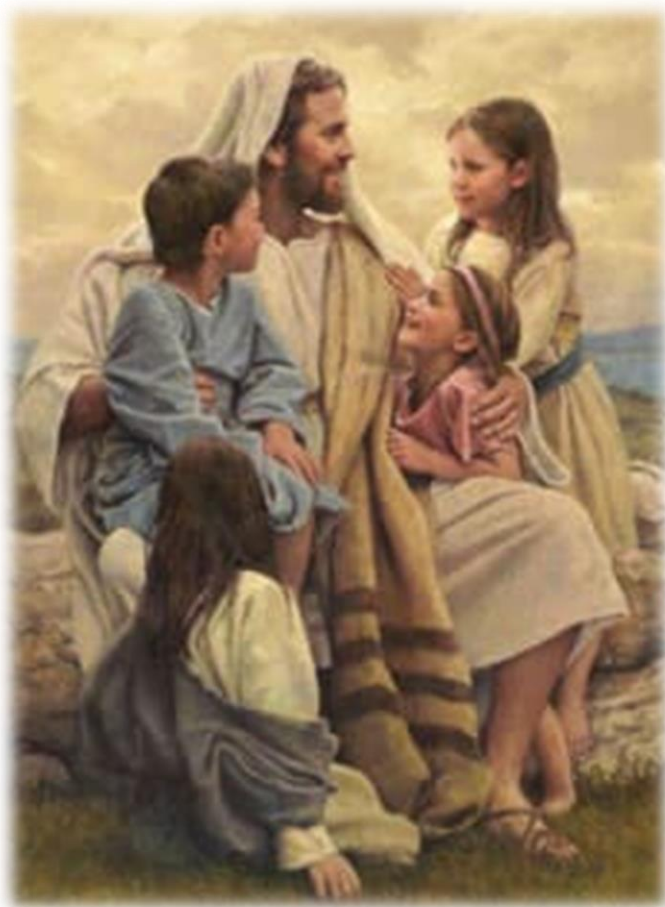
日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 217

発行日  
2024年  
9月22日

記録的に暑い日が続いていますね。皆さん、体調はいかがでしょう。夏の疲れが取れないまま、なんとなくだるいなあ、眠いなあと感じる時は、静かに神様にお話しながらゆっくり過ごしてみましよう！



今週の聖書 マルコによる福音書 9:30-37

30 一行はそこを去って、ガリラヤを通って行った。しかし、イエスは人に気付かれるのを好まなかった。31 それは、弟子たちに教えて、「人の子は人々の手に渡され、殺される。殺されて三日の後に復活する」と言っておられたからである。32 弟子たちはその言葉が分からなかったが、怖くて尋ねられなかった。33 一行はカファルナウムに来た。家に着いてから、イエスは弟子たちに、「道で何を論じ合っていたのか」とお尋ねになった。34 彼らは黙っていた。道々、誰がいちばん偉いかと言いつついたからである。35 イエスは座って、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」36 そして、一人の子どもを連れて来て、彼らの真ん

聖書からのメッセージ

司祭 橋本 克也

弟子たちは、「誰が一番偉いか、立派なのか」などと議論をしていました。イエスさまは「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」と言って教えられます。神さまに愛されている人の生き方とは、他の人との比較によってではなく、自分が幼い子供であることを受け入れ、認めながら、十字架のイエスさまがいつも一緒に生きておられることの喜びに気づかされながら歩む信仰の生活です。

中に立たせ、抱き寄せて言われた。37 「私の名のためにこのような子ども一人を受け入れる者は、私を受け入れるのである。私を受け入れる者は、私をお遣わしになる方を受け入れるのである。」